



島三小育友会

発行 広報誌

誌 時 号

55年1月14日

— 冬休みの反省特集 —

明けましておめでとうございます。

今年味の味のある「かんは」をつくろうと 部員一同 がんばる決意をあらたにしました。よろしくお願ひ致します。

島三小育友会広報部

— りっぱだった冬休みの生活 —

非行・事故ゼロ



— 親子のふれあいのたまもの —

冬休みは、お正月・クリスマス、それにとまなう多額のお年玉・クリスマスプレゼント、それに学校からの解放、保護者の年末年始による多忙等で悪条件が重なり、非行がおきやすいのに、非行・事故がゼロだったことは、親子のふれあいに努力なされたからだと思ひます。

1. 親子のふれあい

① 冬休み生活10点運動保護者のしるし（^{反省}）より

親子に呼びかける^{反省}

1年 Nちゃん^の反省

25日(火) 手つだいをながながしない將。

26日(水) いわれなくてもはみがきをするように。

27日(木) あとかたづけがへたです。

28日(金) いとこの〇〇ちゃんと元気よく遊べてよかったね。

29日(土) すこし泣きおひです。

3 学校のとりくみ

「夏休みのようなことは二度とくりがえすまい」「三井より非行を減らさまい」の旨言葉で、生活指導部を中心に全職員で一丸となり取りくみました。

① 学級指導や子どもクラブ校内会で

島三井はいい子のきまりをつくり「必ずこれだけは守ろう」と呼びかけ、その実践評価のために「冬休み生活10点運動」にとりくませました。それに学年学級では、学年に応じた生活課題をきめ、非行防止を計りました。

② 学級部会・代議員会でのお願い

「先生学級部会に20名の出席でした」「25名の出席でした」と、年末の多忙にかかわらず、出席率が向上したことは、教育に生活指導に関心が高まったのではなかろうか。学級部会・代議員会では非行防止のために、町内ぐるみのとりくみをお願いしました。

③ 職員の街頭補導

子どもの遊び回る場所を夏休みの指導よりチェックし、それを職員に連絡し、買い物ついでに指導をしました。生活指導部員はできるだけ町内できるようにしました。

④ 電話や年賀状により呼びかけ

「夏休みのこの舞をさせまい」と注意を要する子供に対しては、電話や年賀状にて担任より注意をうながしました。

⑤ おわりに

この冬休み反省の文は、生活指導部会で話し合ったことを文にしたものです。りっぱな冬休みの生活ができたことは、学校と家庭と町内が、しっかりと手をにぎったからではないでしょうか。今後どこで非行がおこるかわかりません。三井一丸となって非行がおきないように努力しましょう。はじめて生活部会は突って解散しました。

(文責任川峰)

